AWS オンライン セミナー

# 夏の Amazon EC2 祭り 2023 最新インスタンス活用編

## ～新しいインスタンスを使ってコスト最適化～

AMD

together we advance_data centers

# 注意事項

本プレゼンテーションには、Advanced Micro Devices, Inc. (AMD) の将来の予測に関する記述が含まれています。これには、AMD 製品の特徴、機能性、パフォーマンス、入手可能性、時期、および期待される利益に加えて、AMD 製品のロードマップなどがあり、これらは米国の1995年私的証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) のセーフハーバー条項に従って作成されています。将来の予測に関する記述には、一般的に、「するであろう」、「する可能性がある」、「期待される」、「考えられる」、「計画している」、「意図している」、「予測される」といった用語が含まれます。投資家の皆様は、本プレゼンテーションの将来の予測に関する記述が、現在の判断と仮定・予想に基づき、本プレゼンテーション実施日におけるものであり、実際の結果が現在の予想と大きく異なる可能性のあるリスクと不確実性が含まれていることにご注意ください。当該記述は、既知および未知のリスクや不確実性の影響を受けるものであり、その多くは予測が困難で、一般的に AMD がコントロール可能な範囲を超えるものであるため、実際の結果やその他の将来の事象は、将来の予測に関する情報や文章で表現または暗示・予測されている内容とは大きく異なる可能性があります。投資家の皆様には、Form 10-K および 10-Q に関する AMD の最新の報告書を含め、AMD が証券取引委員会に提出する年次報告書に含まれるリスクと不確実性を詳細に検討することが求められますが、検討するべき事項はこれらに限定されません。

AMD は法律で義務付けられている場合を除き、本プレゼンテーションで発表された将来の予測に関する記述を更新する義務を負わないものとし、本ドキュメントにより当社は当該責任を否認します。

# AGENDA

- テクノロジートレンド
- ロードマップ
- AMD EPYC™ 9004 プロセッサ
  Zen 4 マイクロアーキテクチャー概要
- まとめ

# AMD EPYCとAMD INSTINCT MI200アクセラレーター搭載の FRONTIERスーパーコンピューターが TOP500で世界1位をキープ (AS OF MAY 2023)


OAK RIDGE National Laboratory | LEADERSHIP COMPUTING FACILITY

AMD EPYC

INSTINCT

スーパーコンピューター「トップ500」のうち、
最もシェアを拡大したCPUとGPUがAMD製品



AMD

# AMD EPYC™ は日常で使われています

# THE WORLD RELIES ON AMD EPYC™ CPUs EVERY DAY


マイクロソフト オフィス365, TEAMS, テンセント ミーティング,
ツイッター, ZOOM そのほか

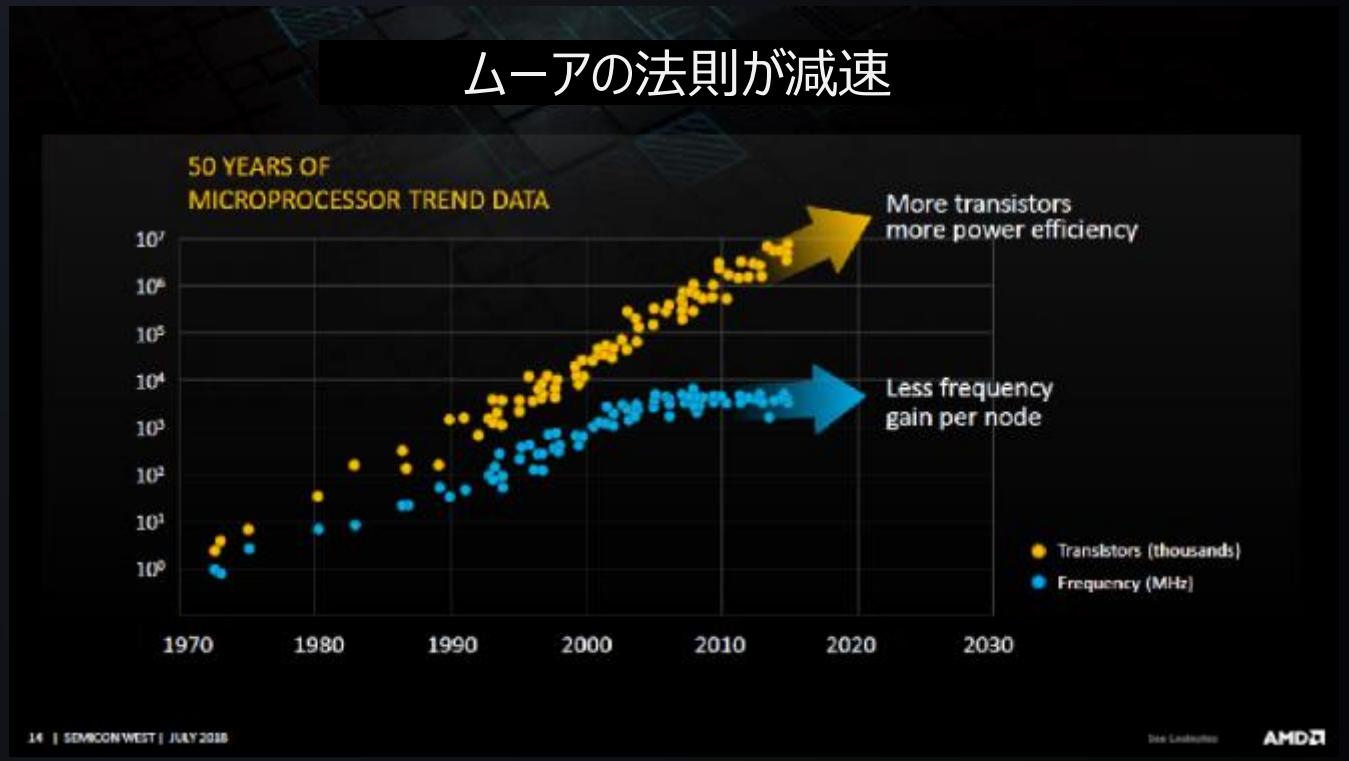


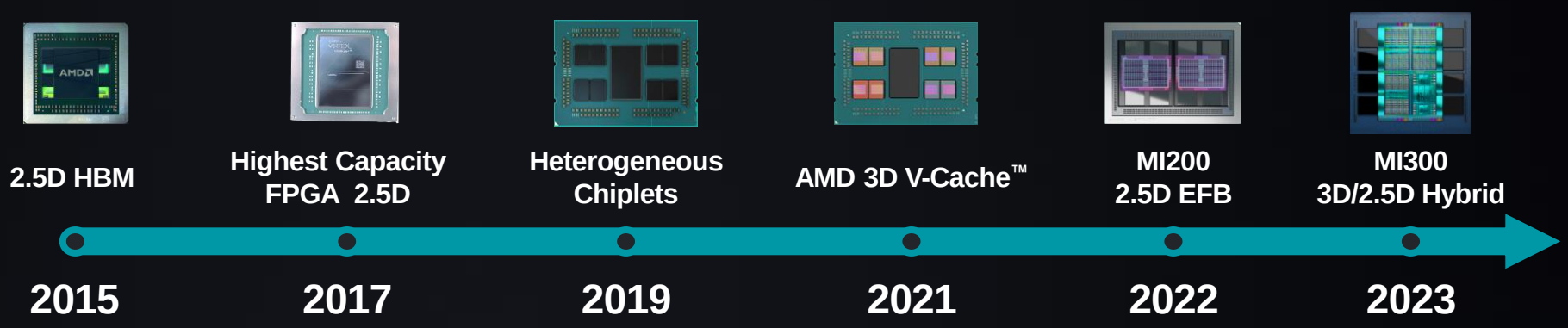


AMD

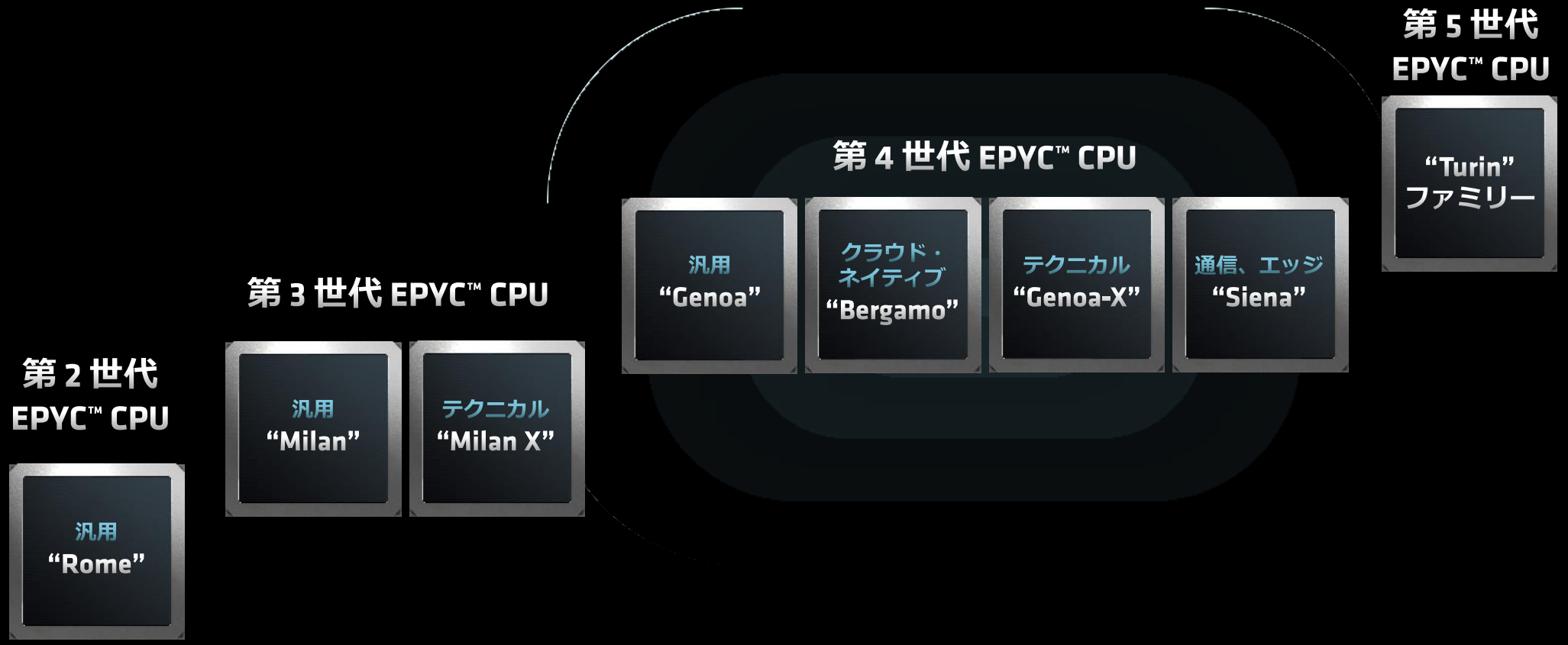
# 最新 CPU トレンド

- アメリカ CHIPS法案成立
- 世界的な半導体供給不足解消へ
- ムーアの法則が減速
- モノシリック・ダイからチップレットへ
- Arm の台頭
  - Apple, AWS Graviton, 富岳
- 3D パッケージ技術の登場
- 競争が激化しています



# 戦略とロードマップを確実に実行




ロードマップは予告なしに変更される可能性があります。

# AMD EPYC™ 9004 概要 (Genoa)

## 演算

- **AMD “Zen4” x86 コア**
  **(最大 12 CCD / 96 コア / 192 スレッド)**
- 1MB L2/コア、最大 32MB L3/CCD
- **命令セット：bfloat16、VNNI、AVX-512 (256bit データパス)**
- メモリーは 57b/52b 仮想 / 物理アドレスに対応可能

- 最新の IOD と内部の AMD Gen3 Infinity Fabric™ アーキテクチャーに加えて、ダイ・ツー・ダイの帯域幅を拡大

- ターゲット TDP 範囲：最大 400W (cTDP)

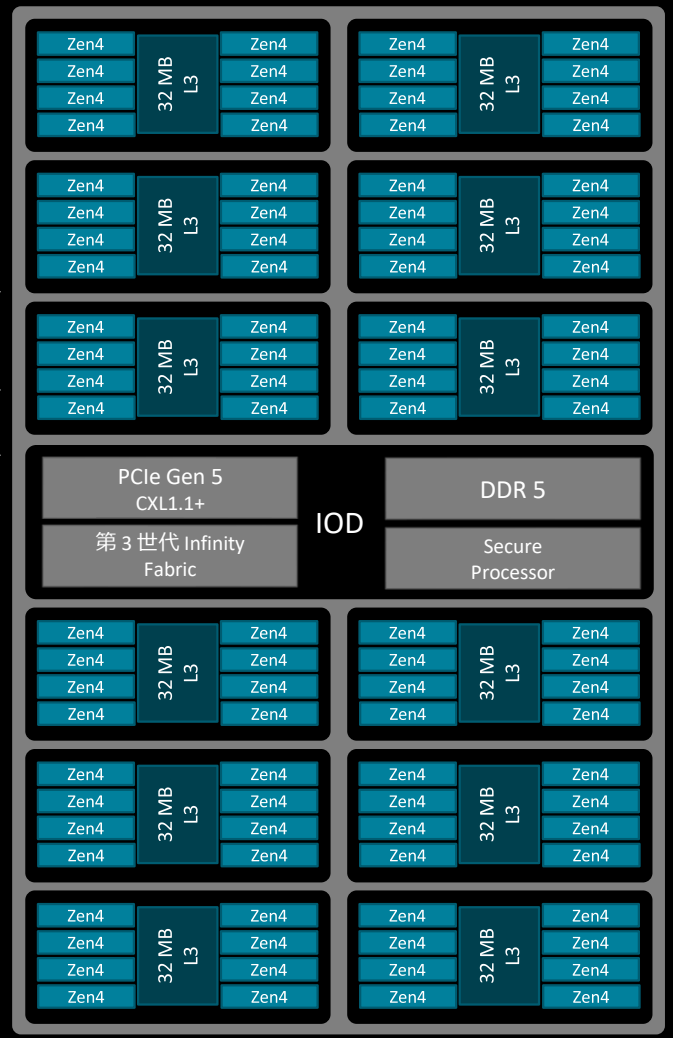
- **最新の** RAS機能

## メモリー

- **12 チャネル DDR5 と最大 4800 MHz の ECC**
- オプションで2、4、6、8,、10、12チャネルメモリーインターリーブ[1]

- RDIMM、3DS RDIMM

- 最大 2 DIMM/チャネル容量、2 ソケットシステム (256GB 3DS RDIMM) で最大 12TB[1]




## SP5 プラットフォーム

- **新ソケット、パワーと VR を向上**
- 最大 4 リンクの第 3 世代 AMD Infinity Fabric™ と最大 32Gbps のスピード
- 柔軟なトポロジーオプション

- サーバーコントローラーハブ内蔵(USB、UART、SPI、I2C など)

## I/O 統合 - チップセットなし

最大 160 IO レーン (2P) の **PCIe® Gen5**

- 最大 32 Gbps のスピード、x1 までの分岐に対応
- 2P 構成で最大 12 の追加 PCIe® Gen3 レーン (8 レーン – 1P)
- SATA で最大 32 の IO レーン

- CXL1.1+ では 64 I/O レーンをサポート、x4 までの分岐に対応

## セキュリティー機能

専用セキュリティー・サブシステムの強化

Secure Boot、ハードウェアの信頼の基点（Root of Trust）

SME (Secure Memory Encryption)

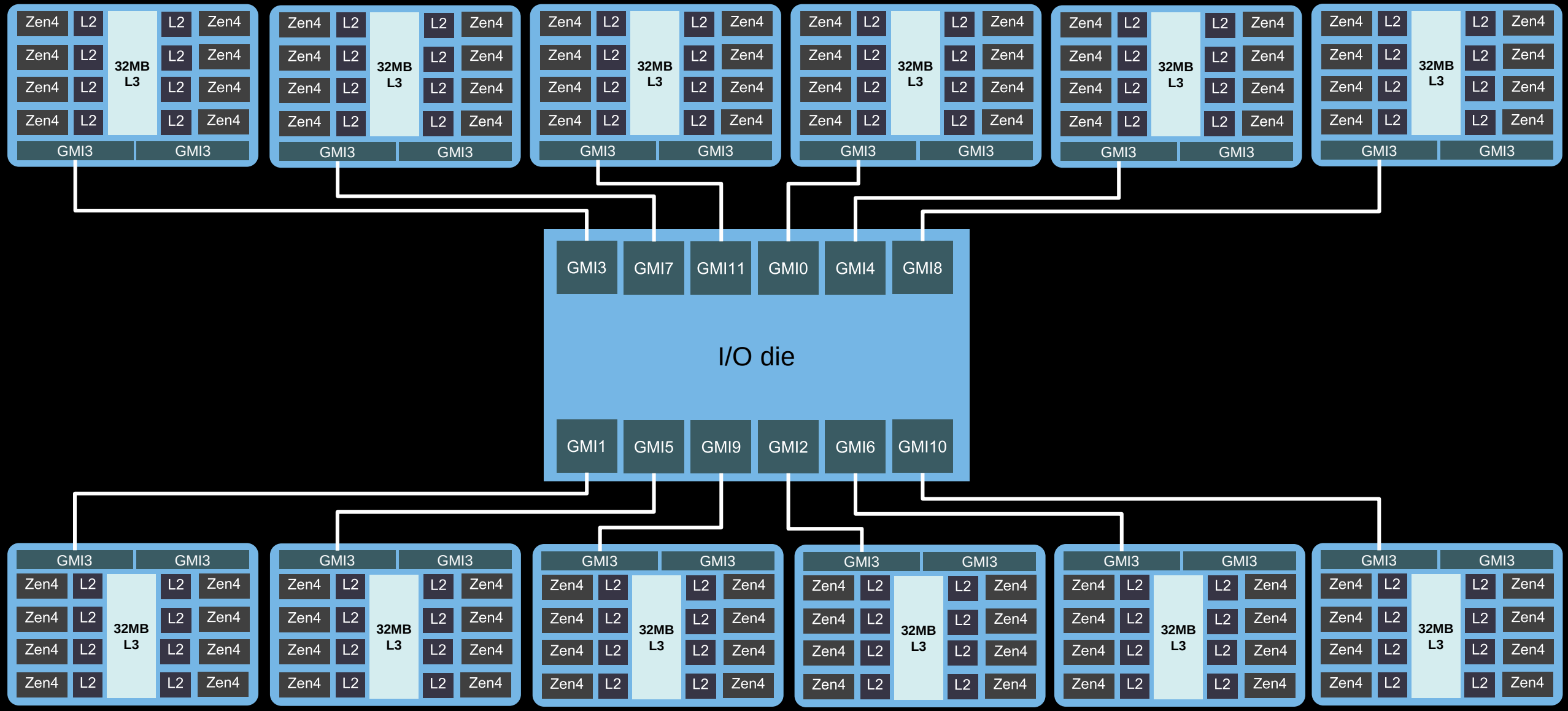
SEV-ES (Secure Encrypted Virtualization & レジスタ暗号化)

**SEV-SNP (Secure Nested Paging)、AES-256-XTS と VM 暗号化を向上**

**青い文字は 前世代CPU、EPYC 7003 からのアップグレードを示します。**

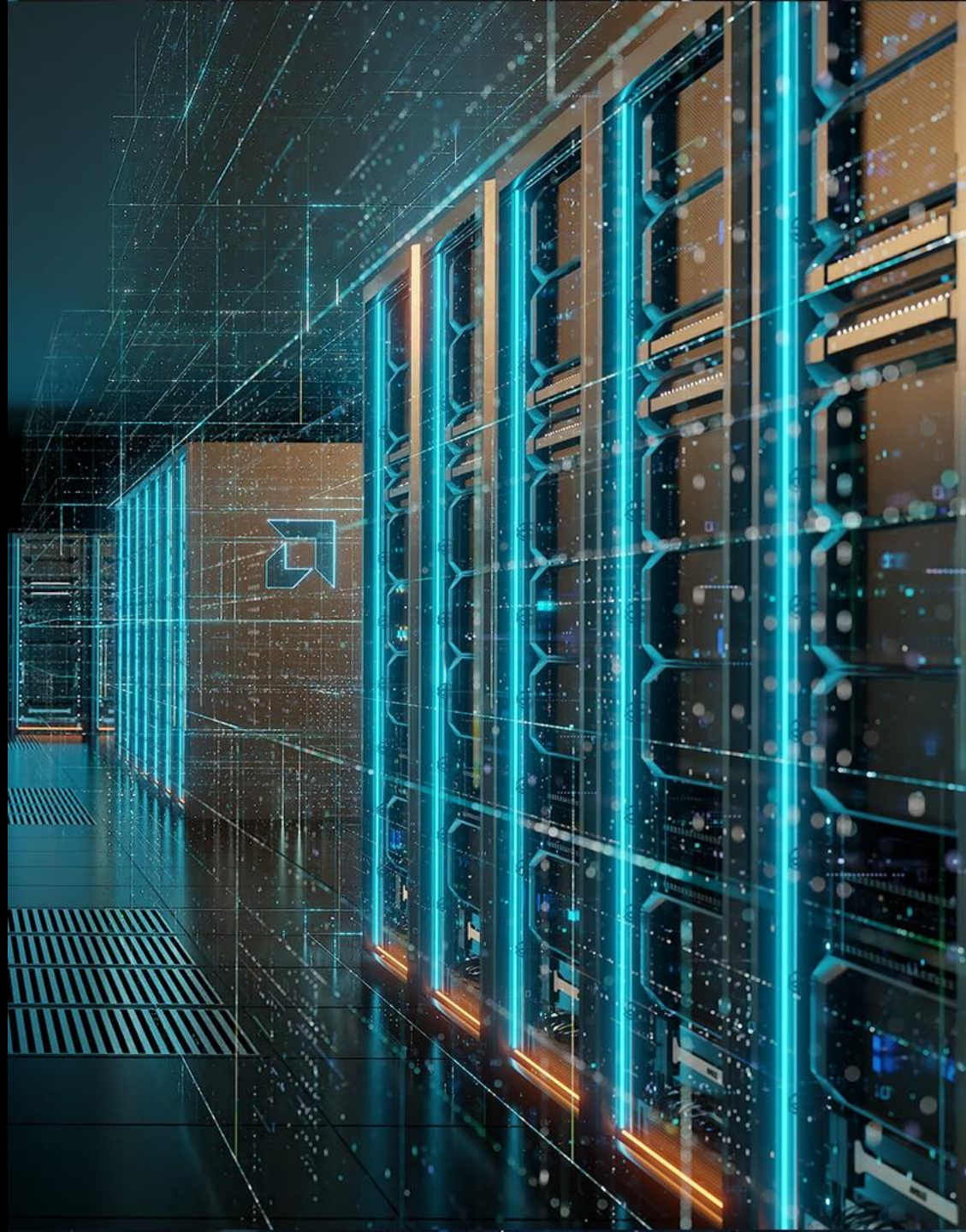
[1] 所定の DIMM ポピュレーションルールを適用。GD-183: AMD Infinity Guard の機能は、EPYC™ プロセッサーの世代によって異なります。
Infinity Guard のセキュリティー機能は、サーバー OEM および/またはクラウド・サービス・プロバイダーにより有効化されている必要があります。Infinity Guard の詳細については、https://www.amd.com/en/technologies/infinity-guard をご覧ください。

# EPYC 9004 – 12 CCD コンフィグレーション



AMD

# “Zen 4” アーキテクチャー概要



# “Zen 4” アーキテクチャーの設計目標

## パフォーマンス

IPC と周波数の 2 桁向上

## レイテンシー

大容量 L2 による平均レイテンシー低下、キャッシュの効率向上

## スループット

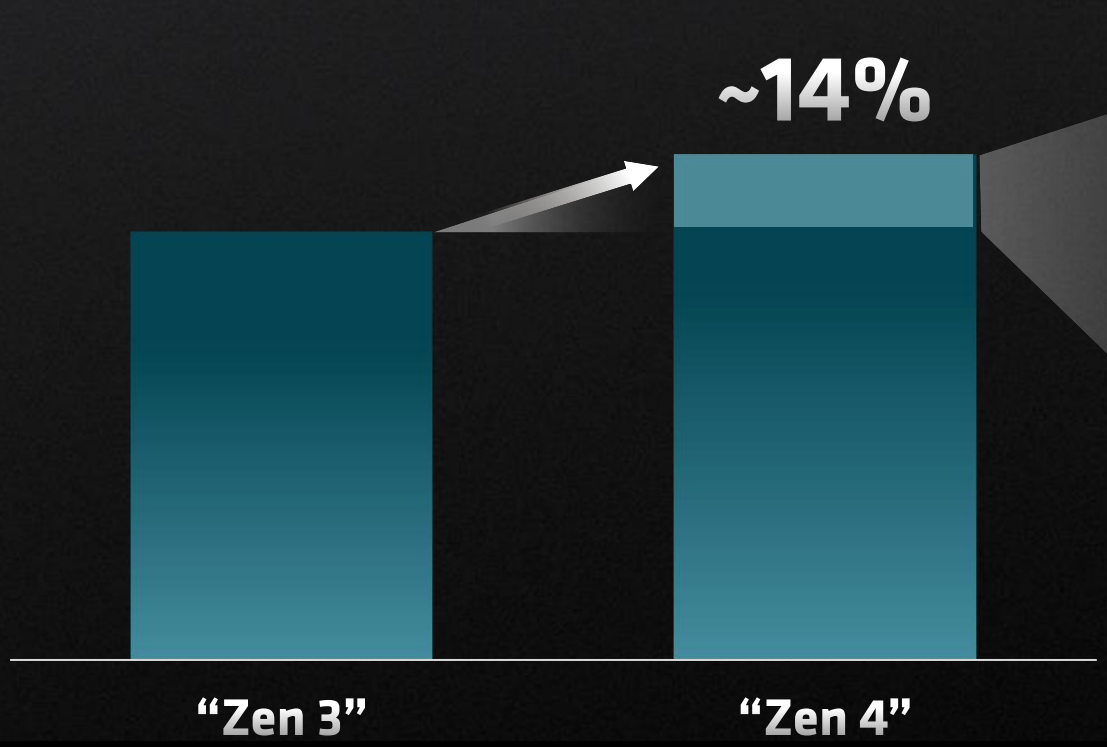
動的電力消費の大幅な削減、コア数の効率的な増加

# 世代間の性能向上

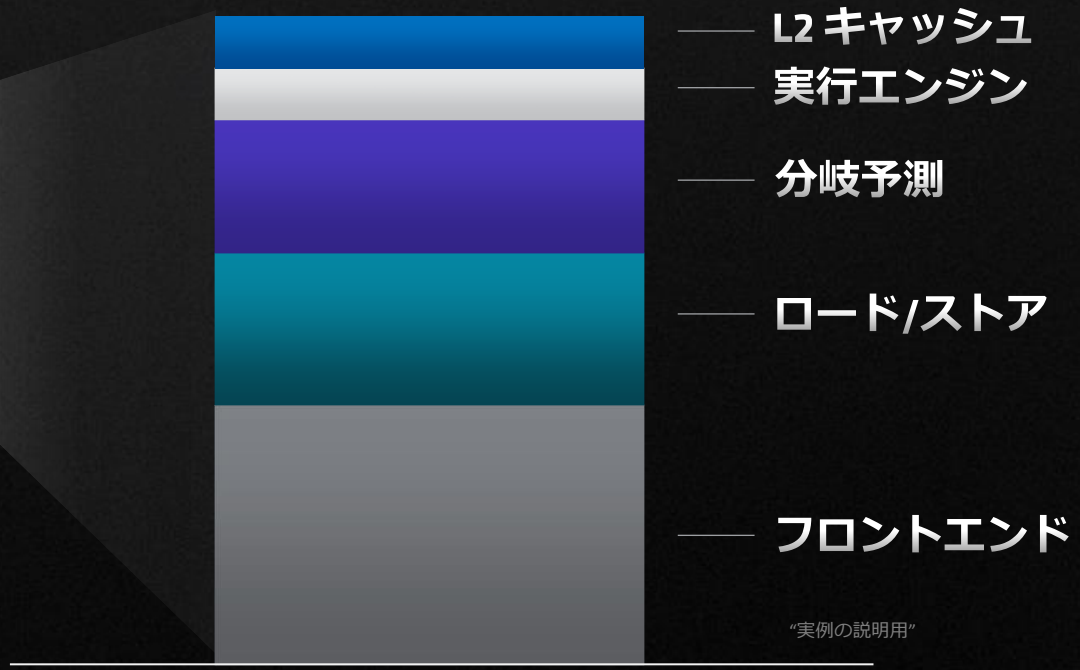
## “Zen 4” はサーバー CPU の IPC パフォーマンスを ~14% 向上[1]

### 33 種類のサーバーワークロードの幾何平均

(固定周波数、8+1 CCD)




### “Zen 4” パフォーマンスを発揮する理由

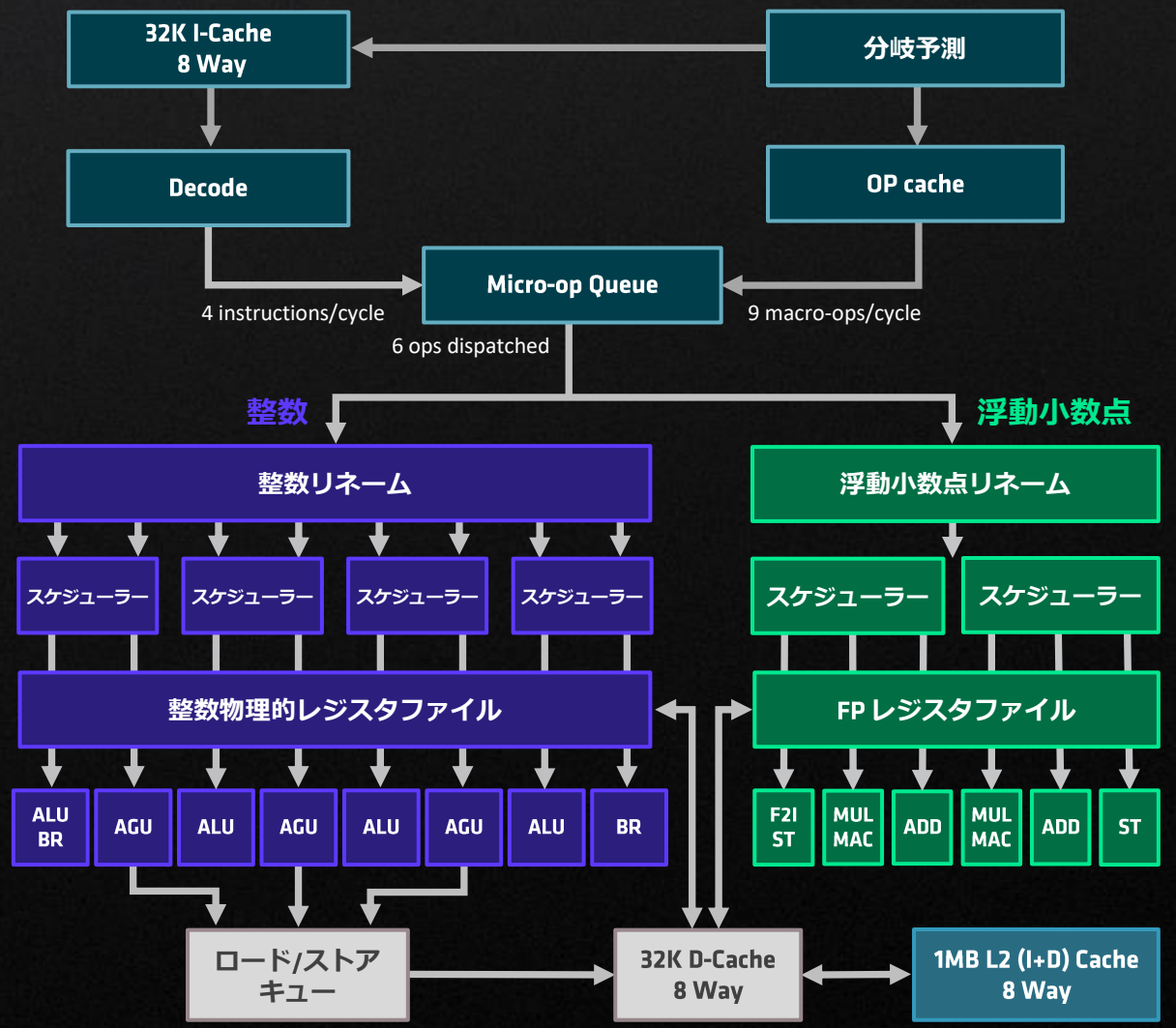





脚注：EPYC-038 を参照

# “Zen 4” マイクロアーキテクチャー概要

- “Zen 3” マイクロアーキテクチャーに基づく
- 分岐予測の向上
  - サイクルあたり 2 つの分岐を予測
  - 大容量 L1 BTB
  - 大容量 L2 BTB
- OP cache 大型化
- 命令リタイヤキュー大型化
- Int/FP レジスタファイル大型化
- コア全体でよりディープなバッファ
- 電力効率に優れた AVX-512 を浮動小数点演算ユニットでサポート
  - 256bit データパス
- ロード/ストアの改善
  - ポートの競合を低減
  - 大容量 L2 DTLB
- L2 Cache 1M、 8 Way
- 大容量共有 L3 cache



# “Zen 3” から “Zen 4” への進歩

| | “Zen 3” | “Zen 4” |
|---|---|---|
| LDQ | 72 | 88 |
| STQ | 64 | 64 |
| Mirco-op cache | 4k OP | 6.75k OP |
| L1 I/D-cache | 32/32k | 32/32k |
| L2 cache | 512k | 1M |
| L3 cache/core | 4M | 4M |
| L2 TLB | 2k | 3k |
| L2 latency | 12 cycles | 14 cycles |
| L3 latency | 46 cycles | 50 cycles |

| | “Zen 3” | “Zen 4” |
|---|---|---|
| Issue width (Int + FP/SIMD) | 10+6 | 10+6 |
| Int reg | 192 | 224 |
| Int scheduler | 96 | 96 |
| FP reg | 160 | 192 |
| ROB | 256 | 320 |
| FADD/FMUL/FMA latency | 3/3/4 cycles | 3/3/4 cycles |
| L1 BTB* | 2 x 1k | 2 x 1.5k |
| L2 BTB* | 2 x 6.5k | 2 x 7k |

* “Zen 3” と “Zen 4” は、BTB エントリーあたり最大 2 つの分岐を格納

# AVX-512
## 拡張機能に対応

- **AVX512F** – ファウンデーション（基盤）
- **AVX512DQ** - パック整数計算命令
- **AVX512_IFMA** - 整数融合積和
- **AVX512CD** - ループのベクトル化で競合を検出
- **AVX512BW** - さらにパック整数命令を追加
- **AVX512VL** - 新しい命令を 128 & 256 bitに拡張
- **AVX512_VBMI** - ベクトルバイトの順列処理
- **AVX512_VBMI2** - ベクトルバイトの順列処理を向上
- **GFNI** - ガロア体の新しい命令 (SSE、AVX、AVX512)
- **AVX512_VNNI** - ベクトル NN 命令
- **AVX512_BITALG**
- **AVX512_VPOPCNTDQ**
- **AVX512_BF16** - BFloat16 変換

## Neural Magic Sparse INT8 推論

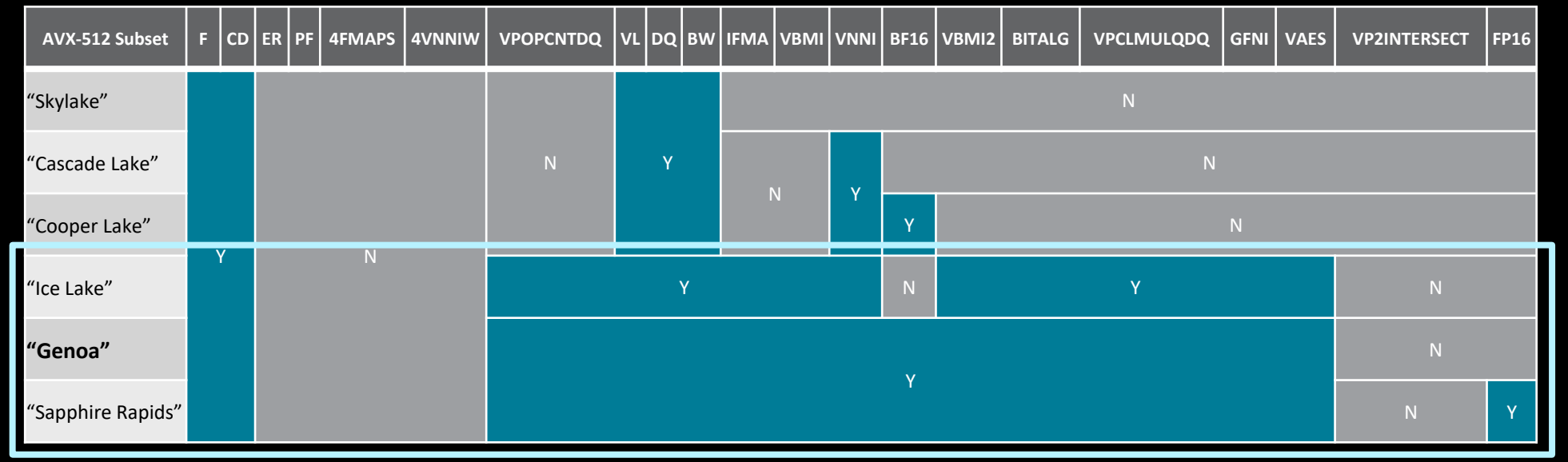
**~4.2倍**
**NLP スループット**
2P AMD EPYC™ 9654 と 2P AMD EPYC™ 7763 の比較

**~3倍**
**画像分類スループット**
2P AMD EPYC™ 9654 と 2P AMD EPYC™ 7763 の比較

**~3.5倍**
**オブジェクト検出スループット**
2P AMD EPYC™ 9654 と 2P AMD EPYC™ 7763 の比較

脚注：SP5-022 を参照。Neural Magic によるサードパーティーのテストは、AMD の独自の検証はされていません

# AVX-512 インストラクションセットのサポート詳細

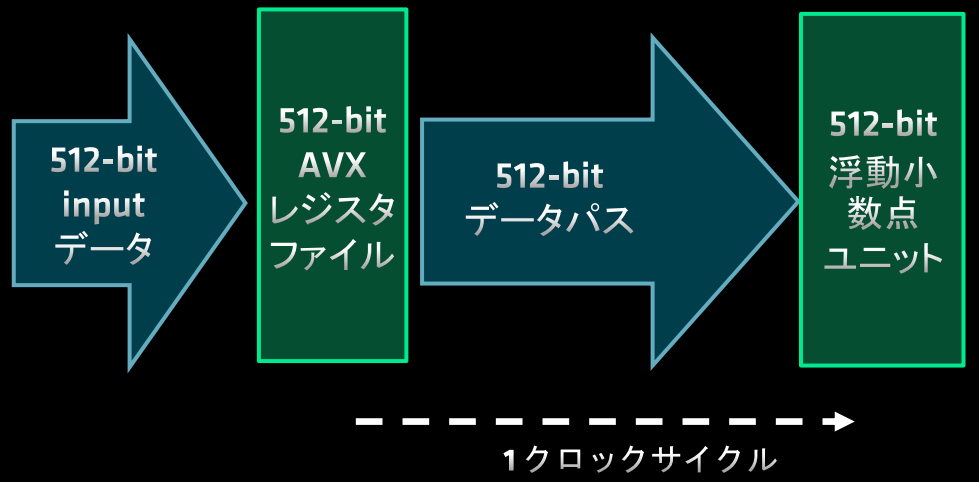


| AVX-512 Subset | F | CD | ER | PF | 4FMAPS | 4VNNIW | VPOPCNTDQ | VL | DQ | BW | IFMA | VBMI | VNNI | BF16 | VBMI2 | BITALG | VPCLMULQDQ | GFNI | VAES | VP2INTERSECT | FP16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| “Skylake” | Y | | N | | | | N | Y | | | N | | | | | | | | | | |
| “Cascade Lake” | | | | | | | | | | | | N | Y | N | | | | | | | |
| “Cooper Lake” | | | | | | | | | | | | | | Y | N | | | | | | |
| “Ice Lake” | Y | | N | | | | Y | | | | | | | N | Y | | | | | N | |
| **“Genoa”** | | | | | | | Y | | | | | | | | | | | | | N | |
| “Sapphire Rapids” | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | N | Y |

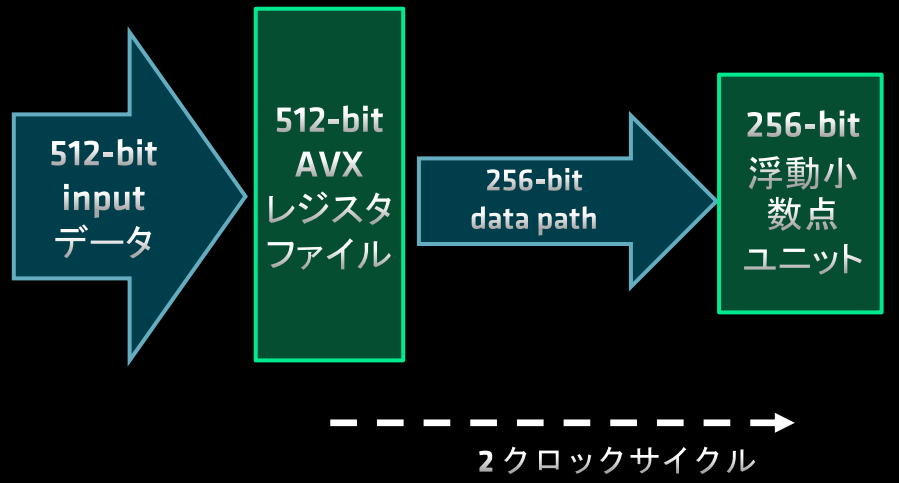
AMD “Zen 4” AVX-512 インストラクションは 第３世代 Intel Xeon (“Ice Lake”)とFP16を除いた第４世代 Intel Xeon (“Sapphire Rapids”) と命令セットの互換性があります。

# Intel AVX-512 vs AMD “Zen 4” AVX-512

- **Intel** データーパス幅 **512** ビット

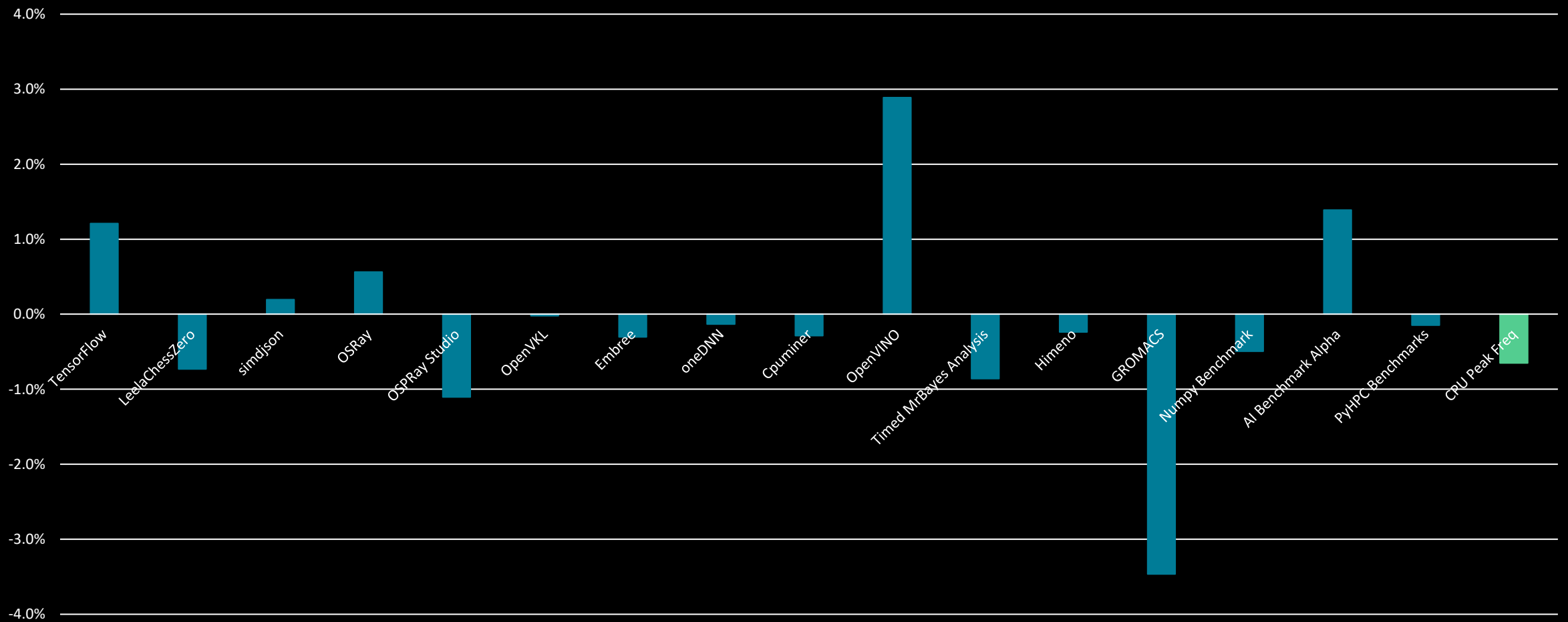



- **“Zen 4”** データーパス幅 **256** ビット




- AMD AVX-512は小面積で高効率な実装を目指しました
- AMD AVX-512 デザインは、 CPUコアと同じ256ビットのデータ・パスを使用し、2つのパーツがシーケンシャルなクロック・サイクルで実行できるように設計している
- “Zen 4” コアは、競合のGolden Coveコアと比較して約50% 小面積で約 47% 高効率 EPYC-041

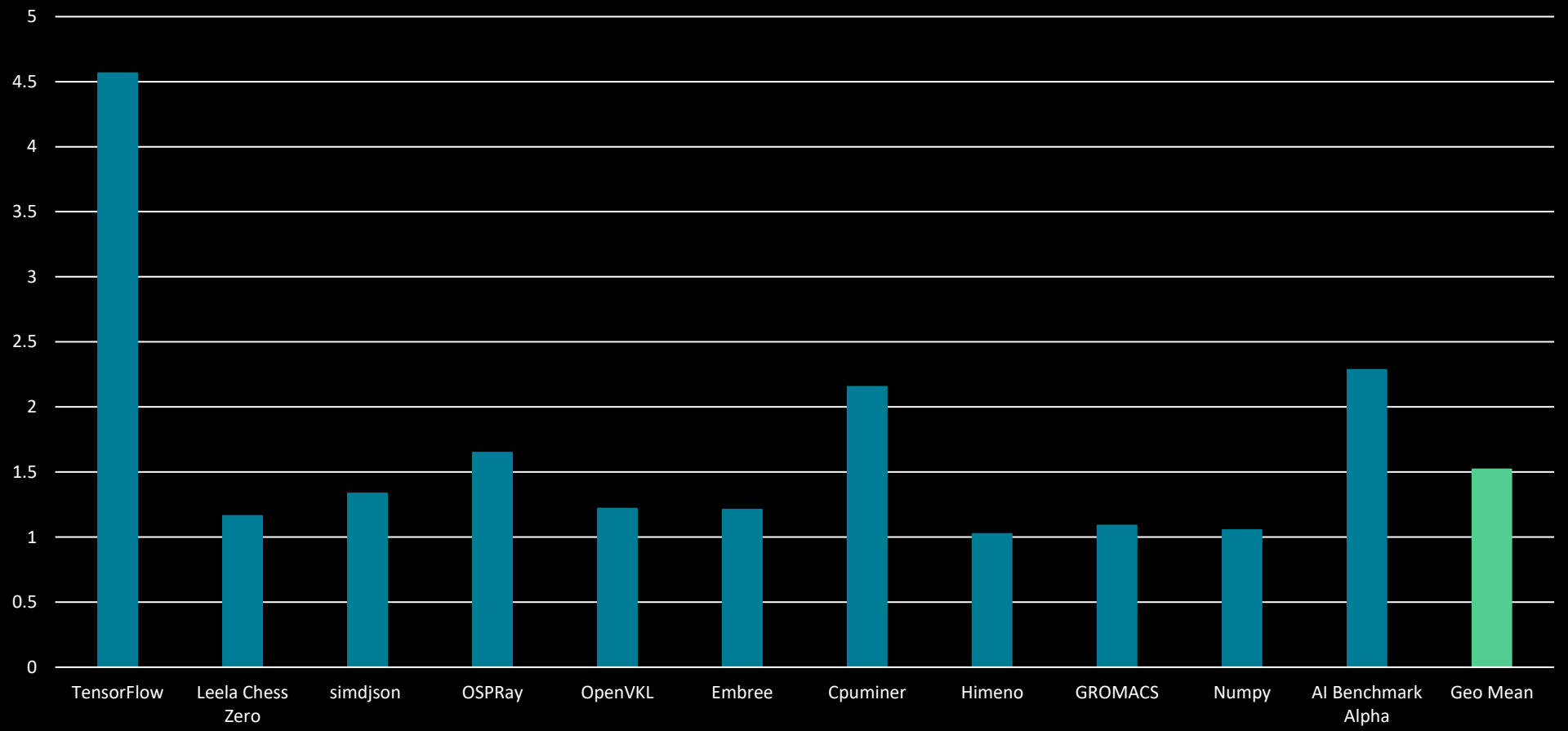
# EPYC™ 9654: AVX-256と比較したAVX-512の相対コア周波数 – Phoronix**




- **AI/ML**で利用される命令（**AVX-512 VNNI +** フロントエンドの最適化）では効率的な実行が可能で、特定のワークロードで周波数が向上
- **AVX-512**の平均周波数は**AVX-256**とほぼ同じ**(-0.7%)**

** AMD analysis of a broad set of AVX-512 workload benchmarks run by Phoronix. Testing not independently verified by AMD. See endnote PRX-2

# EPYC™ 9654: AVX-256と比較したAVX-512の相対性能/ワット – Phoronix**




- 効率的なAMD AVX-512の実装は、AVX-256と比較して、TensorFlowなどのAI/MLワークロードの性能/ワットを大幅に向上させます。

** AMD analysis of a broad set of AVX-512 workload benchmarks run by Phoronix. Testing not independently verified by AMD. See endnote PRX-2

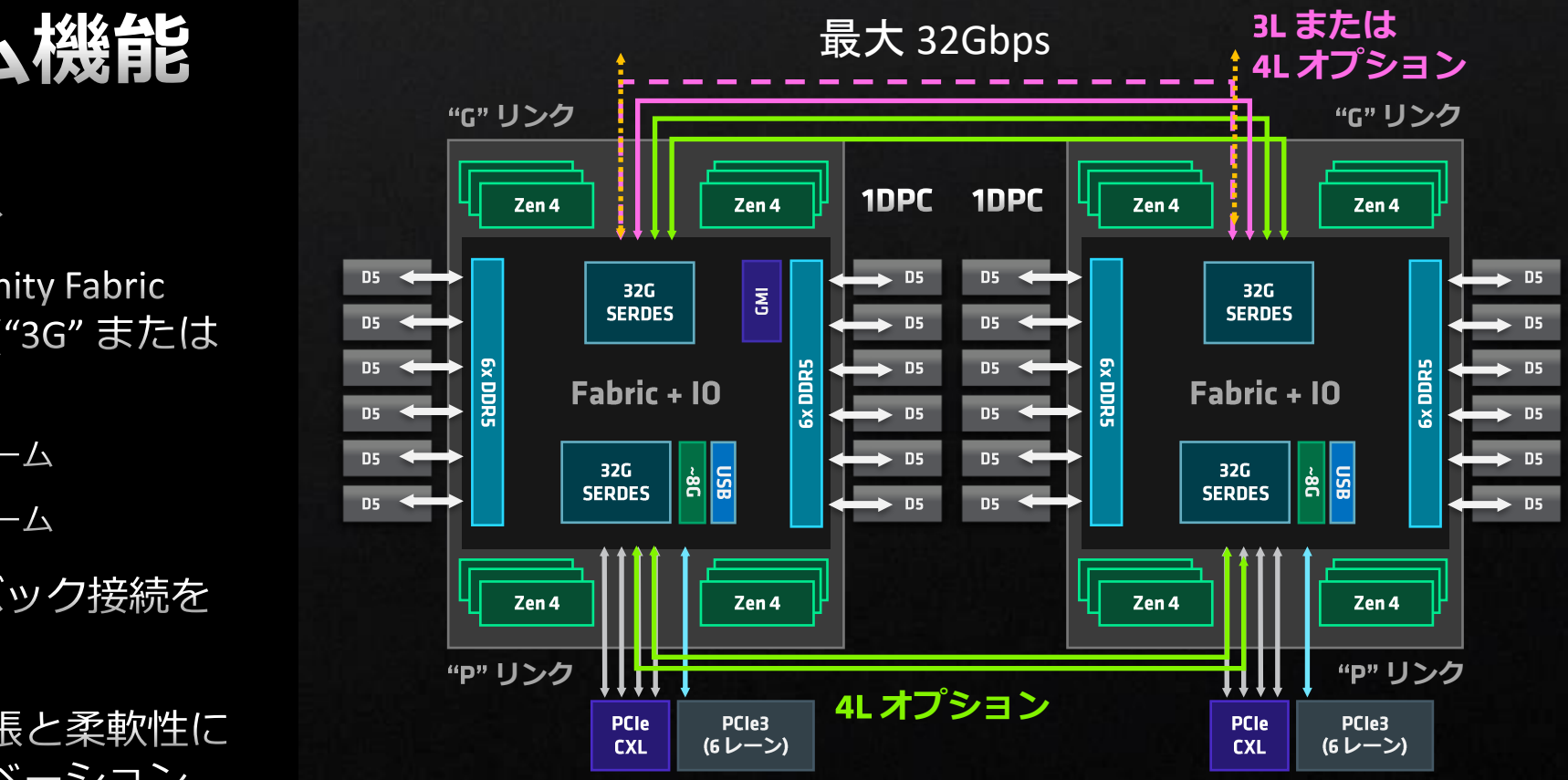
# GenoaのAVX512について

Zen4における
- AVX512 の実装は、AVX256と比較して35%性能が向上しました
- AVX512 の平均動作周波数はAVX256とほぼ同じ (-0.7%)
- AVX512の実装はエネルギー効率に優れており、TensorFlowなどのAI/MLワークロードで性能/ワットで大きな利点があります。

# AMD Infinity Fabric™ プラットフォーム機能

- 最大 32Gbps のパフォーマンス
- 3 リンクまたは 4 リンクの Infinity Fabric プラットフォームオプション (“3G” または “4G” オプション)
  - 3 リンク：160L + 12L / プラットフォーム
  - 4 リンク：128L + 12L / プラットフォーム
- 4L オプションにはフロント/バック接続を追加 (“2P + 2G” オプション)
- プラットフォーム帯域幅の拡張と柔軟性によるプラットフォームのイノベーション

## 第 4 世代 EPYC™ 2P 構成

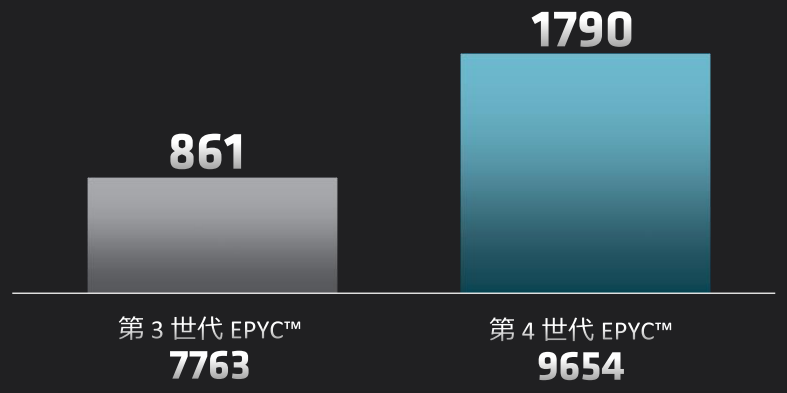


# 業界をリードする先進的な AMD EPYC™ CPU

## クラウド

SPECrate®2017_int_base

**107%** より高いパフォーマンス




**整数演算スループット**

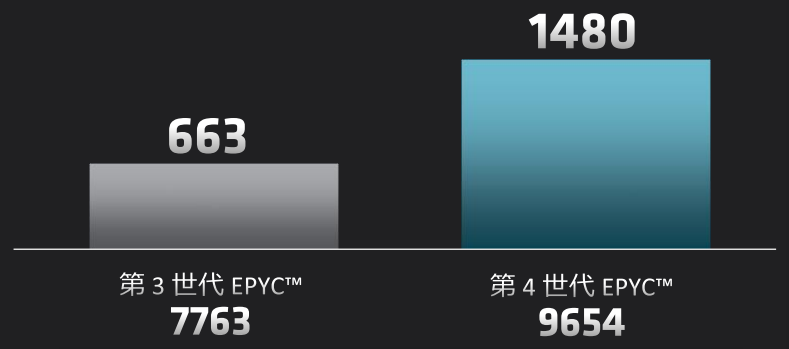
クラウド・サービス・プロバイダー

- IaaS / PaaS
- 検索
- ソーシャル
- SaaS

## HPC

SPECrate®2017_fp_base

**123%** より高いパフォーマンス




**浮動小数点演算スループット**

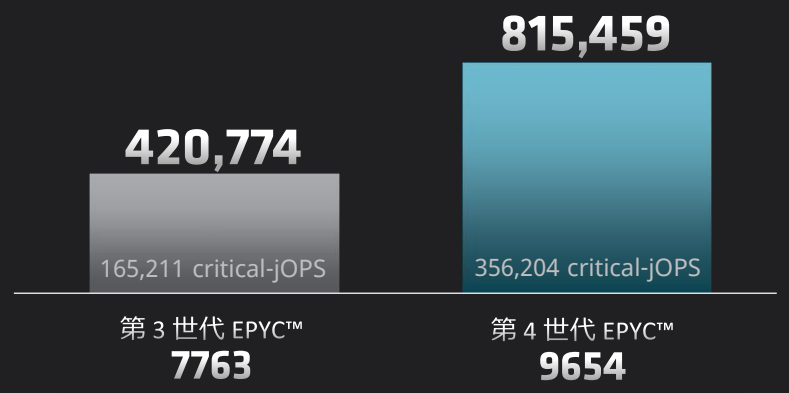
ハイパフォーマンス・コンピューティング

- 設計 & シミュレーション
- 研究 & 学術研究
- 機械学習
- スーパーコンピューティング

## エンタープライズ

SPECjbb®2015 MultiJVM max-jOPS

**94%** より高いパフォーマンス




**サーバーサイド Java® 最大スループット**

エンタープライズ IT

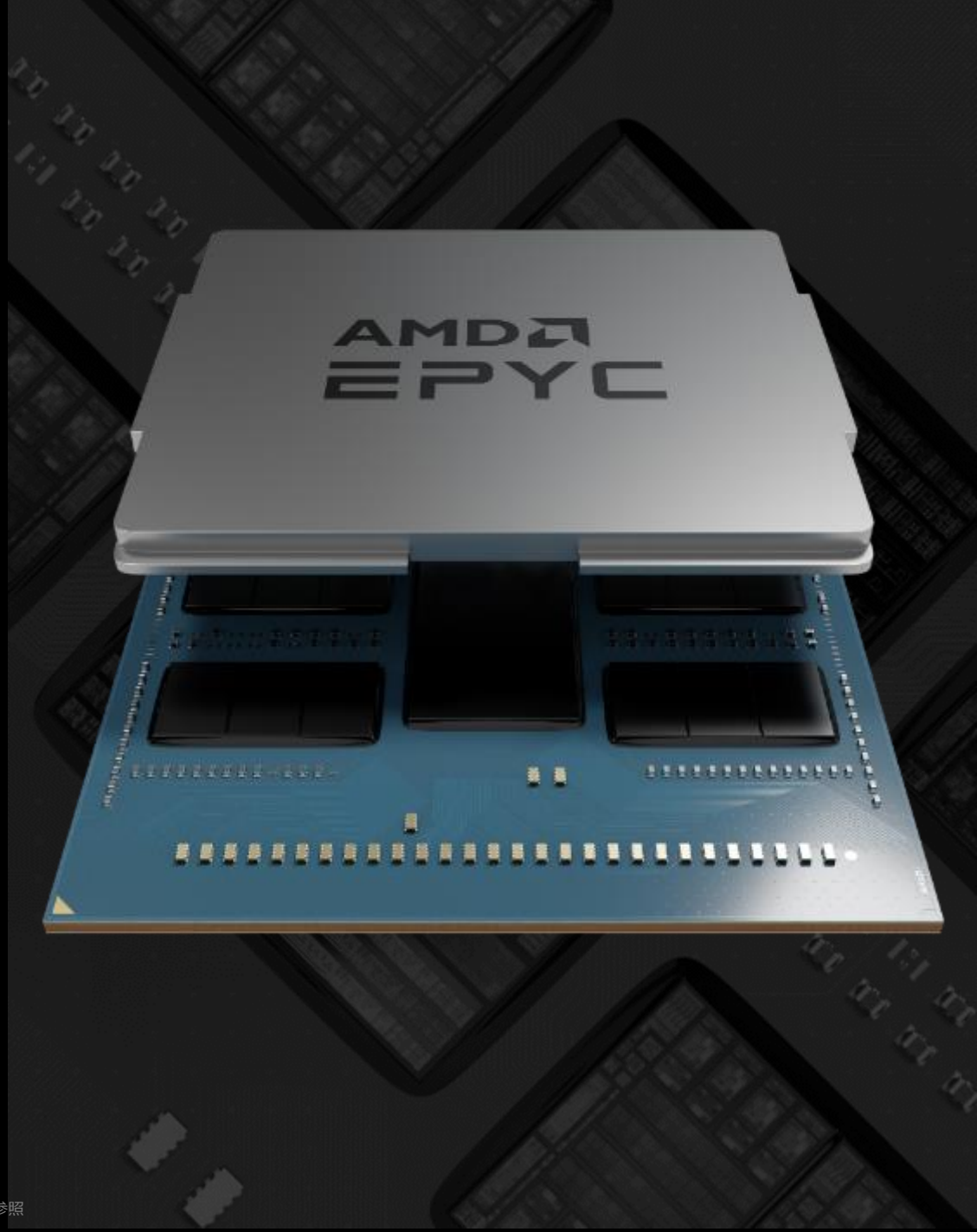
- 仮想化
- SDS/HCI
- Hadoop
- NoSQL



脚注：SP5-001C、-002C、-005C 参照。

# AMD EPYC™ 9004 シリーズ CPU

- **Zen4 でコア・パフォーマンスを大幅にアップグレード**
  - ~14% IPC、AVX-512 ISA サポート (VNNI/bfloat16、1 MB/c L2$ などを含む)
- **CPU あたり最大 96 コア**
- **ハイブリッド型チップレット・アーキテクチャー、最先端の 5nm + 6nm プロセス**
- **リーダーシップのプラットフォーム機能、スケーリングに対応したプロビジョニング**
  - シングルランクのパフォーマンスを強化した 12 チャネル DDR5-4800
  - 128L 32Gbps + 8L 8Gbps 多機能 SERDES
- **CXL1.1+ メモリーサポート (CXL™ “タイプ 3”)**
  - 高度なメモリーアタッチ機能で DDR および新規格のメモリーに対応
  - SEV-SNP、QoS、階層化メモリー管理拡張
- **サーバー RAS：データポイズニング、AMD-C ECC、帯域外の重大なエラーを収集**
- **SEV-SNP キー拡張によるセキュリティー強化、AES-256-XTS サポート**






脚注：EPYC-032、EPYC-034A、EPYC-038 参照


AMD

# Useful link

AMD EPYC ホワイトペーパー

https://www.amd.com/en/processors/server-tech-docs/search

AMD EPYC パフォーマンス・チューニングガイド

https://www.amd.com/en/processors/tuning-guides-server

AMD EPYC デモ

https://www.amd.com/ja/processors/epyc-9004-demo

AMD EPYC ツール　（TCO、CPUセレクター）

https://www.amd.com/ja/processors/epyc-tools

# ENDNOTES

EPYC-38: Based on AMD internal testing as of 09/19/2022, geomean performance improvement at the same fixed-frequency on a 4th Gen AMD EPYC™ 9554 CPU compared to a 3rd Gen AMD EPYC™ 7763 CPU using a select set of workloads (33) including est. SPECrate®2017_int_base, est. SPECrate®2017_fp_base, and representative server workloads.

EPYC-041: ~40% less area measures Core + L2 Area: "Zen 4" = 3.84 mm2 vs. "Sunny Cove" ~6.5mm2. ~48% estimated SPECrate®2017_int_base GCC -O3 Jemalloc configured estimate based on internal AMD reference platform and Intel platform measurements of 11/10/2022. Comparison of estimated 1P AMD EPYC 9534 (537 est. SPECrate®2017_int_base, set to 270 Total TDP W, 64 Total Cores, AMD Est) is 1.48x the performance per watt of 1P Intel Xeon Platinum 8380 (363 est. SPECrate®2017_int_base, 270 Total TDP W, 40 Total Cores, AMD est.) for 1.48x the SoC performance/watt. SPEC®, SPEC CPU®, and SPECrate® are registered trademarks of the Standard Performance Evaluation Corporation. See www.spec.org for more information. OEM published scores will vary based on system configuration and determinism mode used (claim uses 270W cTDP performance profile)
System configuration details: AMD Quartz CRB BIOS 1002E (NUMA nodes per socket: NPS1, L1 HW Stream Prefetcher: Disabled, L2 HW Stream Prefetcher: Disabled, cTDP=Manual, set to 270w, PPT=Manual, set to 270w, 4-link xGMI speed: 20Gbps, Determinism Control: Manual, set to Performance Determinism), 768GB DDR5-3200 (12x 64GB 2R downclocked from 4800GT/s), Ubuntu 22.04, GCC 10.2.
Intel server platform XYZ BIOS #.# (default BIOS), 512GB DDR4-3200 (16x 64GB), Ubuntu 22.04, GCC 10.2.

| DDR | DDR4-3200 | DDR5-3200 |
|---|---|---|
| Core/L3 | | 4MB/core L3 |
| System B/W Triad | 321GB/s | 345GB/s |
| CPU / Power | 8380 270W | 9534 270W |
| Est SPECrate®2017_int_rate GCC -O3 Jemalloc | 363 | 537 |
| Scale | | 1.479x |

SP5-022: Neural Magic measured results on AMD reference systems as of 9/29/2022. Configurations:2P EPYC 9654 "Titanite" vs. 2P EPYC 7763 "DaytonaX" running on Ubuntu 22.04 LTS, Python 3.9.13, pip==22.12/deepsparse==1.0.2. BERT-Large Streaming Throughput items/sec (seq=384, batch 1, 48 streams, INT8 + sparse) using SQuAD v1.1 dataset; ResNet50 Batched Throughput items/sec (batch 256, single-stream, INT8 sparse) using ImageNet dataset; YOLOv5s Streaming Throughput ([image 3, 640, 640], batch 1, multi-stream, per-stream latency <=33ms) using COCO dataset. Testing not independently verified by AMD.

PRX-1: "AVX-512 Performance Comparison: AMD Genoa vs. Intel Sapphire Rapids & Ice Lake" - January 2023, page 8, https://www.phoronix.com/review/intel-sapphirerapids-avx512

PRX-2: "AMD 4th Gen EPYC 9654 "Genoa" AVX-512 Performance Analysis" - December 2022, page 9, https://www.phoronix.com/review/amd-epyc-avx512

# DISCLAIMER AND ATTRIBUTION

The information contained herein is for informational purposes only and is subject to change without notice. While every precaution has been taken in the preparation of this document, it may contain technical inaccuracies, omissions and typographical errors, and AMD is under no obligation to update or otherwise correct this information. Advanced Micro Devices, Inc. makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document, and assumes no liability of any kind, including the implied warranties of noninfringement, merchantability or fitness for particular purposes, with respect to the operation or use of AMD hardware, software or other products described herein. No license, including implied or arising by estoppel, to any intellectual property rights is granted by this document. Terms and limitations applicable to the purchase or use of AMD's products are as set forth in a signed agreement between the parties or in AMD's Standard Terms and Conditions of Sale.

Timelines, roadmaps, and/or product release dates shown in these slides are plans only and subject to change. "Rome", "Milan", "Genoa", "Zen", "Zen2", "Zen3", and "Zen4" are codenames for AMD architectures, and are not product names.